

受験番号	
------	--

令和 7 年普及指導員資格試験

審査課題イ（畜産）

（注意事項）

- ・試験開始の指示があるまで、この試験問題を開かないこと。
- ・解答時間は、2 時間である。
- ・選択問題について、指定された選択数を超えて解答した場合、受験者の解答順に選択数の解答のみを採点する。
- ・答案の作成に当たっては、B 以上の濃さの鉛筆又はシャープペンシルを用いて、明瞭に記載すること。
- ・答案用紙は無記名とし、全ての用紙に受験番号と選択項目名を記載すること。
- ・答案用紙は、設問（左上に記載）ごとに、番号（右上に記載）の順に使用すること。
- ・設問 1 の答案用紙の選択番号欄には、設問より下位の番号を全て記載すること。（例：（2）①）
- ・設問 2 は、答案用紙のはじめの 1 行を使って、選択した問題番号を記載すること。
- ・試験終了後は、白紙のものも含め、全ての答案用紙を回収する。
（ただし、解答を記載した答案用紙のみまとめてクリップで留める）
- ・試験問題にも受験番号を記載すること。

令和7年 普及指導員資格試験 審査課題イ 【選択項目：畜産】

設問1 用語解説問題

次の用語について簡潔に説明しなさい。(各200字程度、全体で1,000字程度)

なお、(1)については必須課題として解答し、(2)については、①から⑨の用語群の中から四つを選択して解答しなさい。

(1) 必須

栄養素

(2) 選択

①系統

②FSH (卵胞刺激ホルモン)

③乳熱

④細断型ロールベアラー

⑤IoT

⑥SPF豚

⑦デュロック種

⑧必須アミノ酸

⑨誘導換羽(休産)

設問2 技術適用力問題

次の二つの設問の中から一つを選び、解答しなさい。(1,600字程度)

(1) 耕畜連携の推進

耕畜連携を推進するために必要な取組について、大家畜を中心とした課題とその対応策、耕種農家と畜産農家のメリットについてそれぞれ記述するとともに、耕畜連携を確立・維持するために普及指導員として果たすべき役割について、あなたの考えを述べなさい。

(2) 自家配合飼料

近年の飼料価格高騰により畜産経営コストに占める飼料費の割合は、濃厚飼料中心の豚・鶏では令和5年で6～7割にも達している。そこで、土地を広くもたない豚・鶏生産者においては飼料原料を自農場で購入し、自ら配合調整する自家配合飼料が飼料費節減の有効な手段と考えられる。その際、普及指導員としての立場から中小家畜生産者への技術的助言として留意すべきことを、未利用資源の利用も含めて述べなさい。